



抱負を語る

(2月20号一面のつづき)

当社の事業領域では、「衛生材料」と「包装・紙加工製品」が大部分の売上を占めており、販売数量と売上金額の両方でポリウムがありま

す。これらは実際に力を入れている事業領域で、そのほかの注力領域としては「住宅・建材」と「機能性材料」があります。これらの事業領域の中でも「包装・紙加工製品」は、積水フーラーが20年前にスタートする以前から手掛けていたもの



積水フーラー
代表取締役社長

スコット・パーガンディー氏

である同社との協業は、当社が国内ビジネスを進める上で大変に有益であり、また学ぶことも多くありました。当社にとって主力製品のホット

トメルト接着剤は、段ボールケースの包装用のホットメルト接着剤として、環境対応とサステナビリティ(持続可能性)を意識する取り組みを進めて

きました。その成果が、3年前に発売した「SFグリーンメルト」シリーズです。同シリーズの包装用の製品については、環境に配慮した低温塗工タイプに設計し、バイオマスマー

クの認証も取得しています。さらに、低い顧客さまに対しより良い製品を提供していくことは、私たちにとても非常に重要であり、常に努力し優れた製品をどのように提供していくかが、最大の課題だと認識しております。

(つづく)

高い対応力のホットメルト接着剤

環境意識の製品開発も加速

国内における同領域のビジネスは、H. B. フーラーの強い協力で進行してきたと言っても過言ではありません。包装・紙加工製品分野のグローバルリーダーのグロースパルティメント Melit Adhesives) の一方、合成ゴム系トメルト接着剤は、加熱すると溶融状態となりますが、その後冷却されることで再び固化状態となり、接着が可能となります。英語(Hot Melt Adhesive)の「熱で溶ける」(Melting)という性質が、従来の接着剤の最大の特長である速硬化性を生かし、包装機のスピードを最大限に高め、生産性の向上に貢献しています。当社では用途に



包装・紙加工製品

温から高温まで幅広い粘着特性を有するテープやラベル向けの製品を2種類ラインアップしております。

これらのようなかさまさまな製品への取り組みを通じて、市場やお